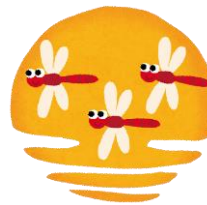


<問い合わせ状況 2022 年 11 月>



院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に5～10件程度の問い合わせに対応しています。11月の疑義照会は11件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認（4件）
- 日数調整（3件）
- 処方削除依頼（残薬で足りるため）
- その他（3件）
 - ・エンシュアの1日量表記について
 - ・処方変更あり、残薬もあるがどうすれば良いか
 - ・訪問薬剤管理を行いたい



薬に関する問い合わせ（患者・家族・施設より）

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。
11月はお問い合わせがありませんでした

薬に関する問い合わせ（院内より）

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してあるDI室への問い合わせは、11月は6件でした（病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります）。

◎がついたものについては回答をDIニュース No. 450 に記載しています。

- 経管投与できるビタミンB剤には何があるか？ → ビタメジン[®]など
- ノベルジン[®]は経管投与可能か？ → 可
- 内服でマグネシウムを補う時は何が使えるか？ → マグミット[®]は経管投与可能
- ◎心不全でフォシーガ[®]を服用中だが食事が減ってきた。継続可能か？
- エピナスチン[®]点眼の代替薬は？ → パタノール[®]点眼
- ケイキサレート[®]は服用後どのくらいで効果発現するか？
→ 経口服用2～3時間後から効果が出始めた文献あり

